

# 市長の ふれあい訪問

● 今回の訪問先 ●

## 錦太鼓会

昭和53年に発足し、小学校低学年から大人までの幅広い年齢層で構成され、川口の伝統芸能である初午太鼓の保存・伝承や青少年の健全育成などを目的に活動している「錦太鼓会」を岡村市長が訪問。太鼓を打つ楽しさや難しさなどをお聞きしました。



**市長** みなさんこんにちは。まだまだ残暑が厳しいですが、健康に気を付けて暑い日々を乗り切ってください。

今月の市長のふれあい訪問は、「錦太鼓会」のみなさんです。どうぞよろしくお願いいたします。はじめに会長の石川さんにお聞きしますが、この会はいっ発足したのですか。

**石川** 昭和53年に地元錦町町の「錦」という1文字をいいただき、発足しました。今年で31年目になります。

**市長** 会員は何人おられるのですか。

**山口** 大人24人、子ども19人の43人で活動しています。

**市長** 今回、子どもの部の代表で来ている阿部君は、太鼓を始めてどれくらいですか。

**阿部(薫)** 2年になります。太鼓の音がきれいで、みんな太鼓をたたくのが楽しいです。

**市長** 阿部さんは、今回のふれあい訪問に親子で参加していたようですが、どのようなき

っかけで入会されたのですか。  
**阿部(明)** 子どもが入会していましたが、始めは初午太鼓コンクールなどのお手伝いをしていましたが、太鼓の音に魅せられ入会しました。

なと思ったことはありませんか。  
**小原** 小学校2年のときから太鼓を始めました。それから5年間続けていますが、今でもリズムを覚えたりするところが難しいです。でも、辞めたいと思っただことは1度もありません。

**市長** 副会長の加藤さんはお若いようですが、いつから始めたのですか。

**石川** みんながまとまり、一つの音を出すところに魅力を感じます。

**加藤** 小学校1年のときからです。20年になります。当初は親に無理やり入会させられたという記憶がありますが、中学生になったころから、太鼓をたく楽しさが分かってきました。

今年の3月に行われた初午太鼓コンクールでは、一致団結し、練習の成果が発揮できたことで、大人の部・子どもの部とも、市長賞(グランプリ)をいただきました。

**市長** 太鼓をやっている難しい

**市長** 受賞した感想を聞かせてください。

**山口** ほかのチームに負けなくらい練習を積み重ねて参加しました。本番に向けてどのチームも頑張っているのが不安はありましたが、優勝したいという気持ち

**山口** 一つになった結果、優勝できたのだと思っています。

**小原** 練習は辛かったけれど、優勝したときは、「ヤッター」という気持ちになりました。

**市長** 練習は、どのくらいしているのですか。

**市長** 夢は実現させるためにあるものなので、その夢に向けてこれからも頑張ってください。今日はありがとうございました。

**市長** 最後に今後の抱負などをお聞かせください。

**石川** 将来、世界公演が実現できたらと思っています。川口の伝統芸能である初午太鼓を世界に広め、子どもたちを世界の舞台に羽ばたかせたいと思っています。

**市長** 夢は実現させるためにあるものなので、その夢に向けてこれからも頑張ってください。今日はありがとうございました。

**加藤** 毎週、木・土曜日の2回、近くの学校を借りて練習しています。

**市長** 保護者の立場から、太鼓をとおして、子どもが成長したと感じますか。

**阿部(明)** 家庭でのしつけとは違った観点から、指導をしていただいていますので、子どもを入会させて良かったと思っています。

**市長** 夢は実現させるためにあるものなので、その夢に向けてこれからも頑張ってください。今日はありがとうございました。

